

# 保証書

品名	ブロックアイススライサー
型式	HF-8BP
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売店名住所	

※必ず各欄をご記入ください。

- 故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。
- 保証期間内は無料修理いたします。  
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。  
・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。  
・落下・輸送上の故障。・火災・地震など天災地変による故障。  
・消耗部品の交換。・保証書のないもの。
  - 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
  - 保証書は紛失されても再発行いたしません。
  - 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。  
(This warranty is valid only in japan.)
  - 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

**CHUBU**  
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口 TEL 0594 (32) 1131

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

## アフターサービスについて

- 保証書はお買い上げの販売店でお渡しします。記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売店など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げ店にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または、最寄りの各営業所までご連絡ください。

**CHUBU**  
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口 TEL 0594 (32) 1131

フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944  
東京／TEL 03 (3633) 9501 大阪／TEL 06 (6788) 2251  
名古屋／TEL 0594 (32) 1130 福岡／TEL 092 (474) 1312

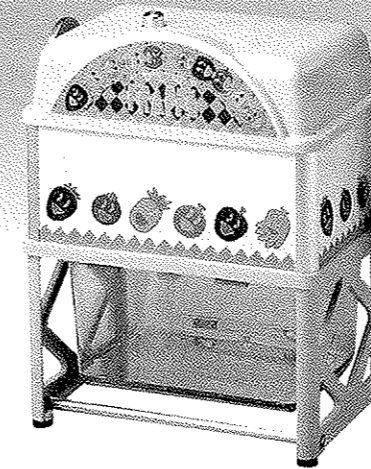
Hatsuyuki

# 初雪氷削機

# ブロックアイススライサー

## 取扱説明書

型式  
HF-8BP



## もくじ

1	安全上のご注意	1
2	使用目的・各部のなまえとその働き	3
	付属品	
3	設置およびご使用前の準備	4
4	ご使用方法	5
5	刃物の交換のしかた	8
6	お手入れの方法	9
	仕様	
7	故障の見分けかたと処置方法	10
	保証書・アフターサービスについて	巻末

- このたびは、初雪ブロックアイススライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

**CHUBU**  
株式会社 中部コーポレーション

# 安全上のご注意

# 1

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。

## 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。  
\*

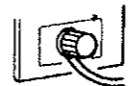
\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 警告

### ●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者による第3種接地工事が必要です。)

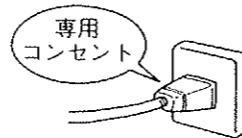
アース端子付コンセント使用のとき



アース線を確実につなぐ

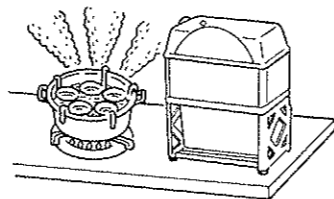
### ●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



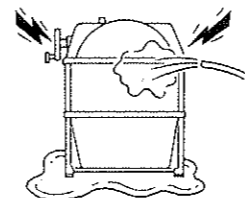
### ●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。  
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



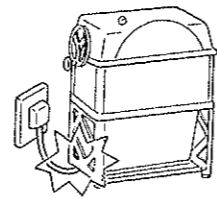
### ●製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因になります。

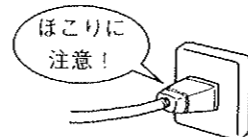


### ●電源コードを傷つけないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、また重いものを載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



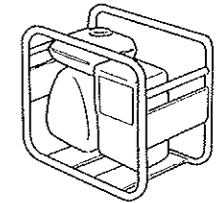
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根本まで確実に差し込むこと  
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



## 警告

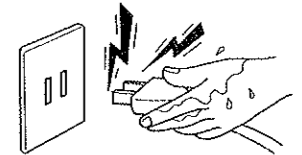
### ●発電機を使用しないこと

製品又は発電機が焼損し火災の原因になることがあります。



### ●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



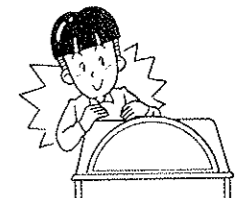
### ●氷の出し入れや掃除・点検、刃物交換のときは必ず電源スイッチを「切」にして手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



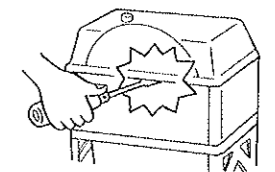
### ●本機は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと

感電、ケガの原因になります。



### ●修理技術者以外の方が分解したり、修理・改造しないこと

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。  
改造工事をされると、感電火災の原因になります。

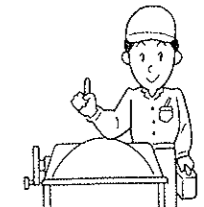


### ●異常時は、電源スイッチを「切」にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること 異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になります。



### ●廃却は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃却は危険な物として処理してください。



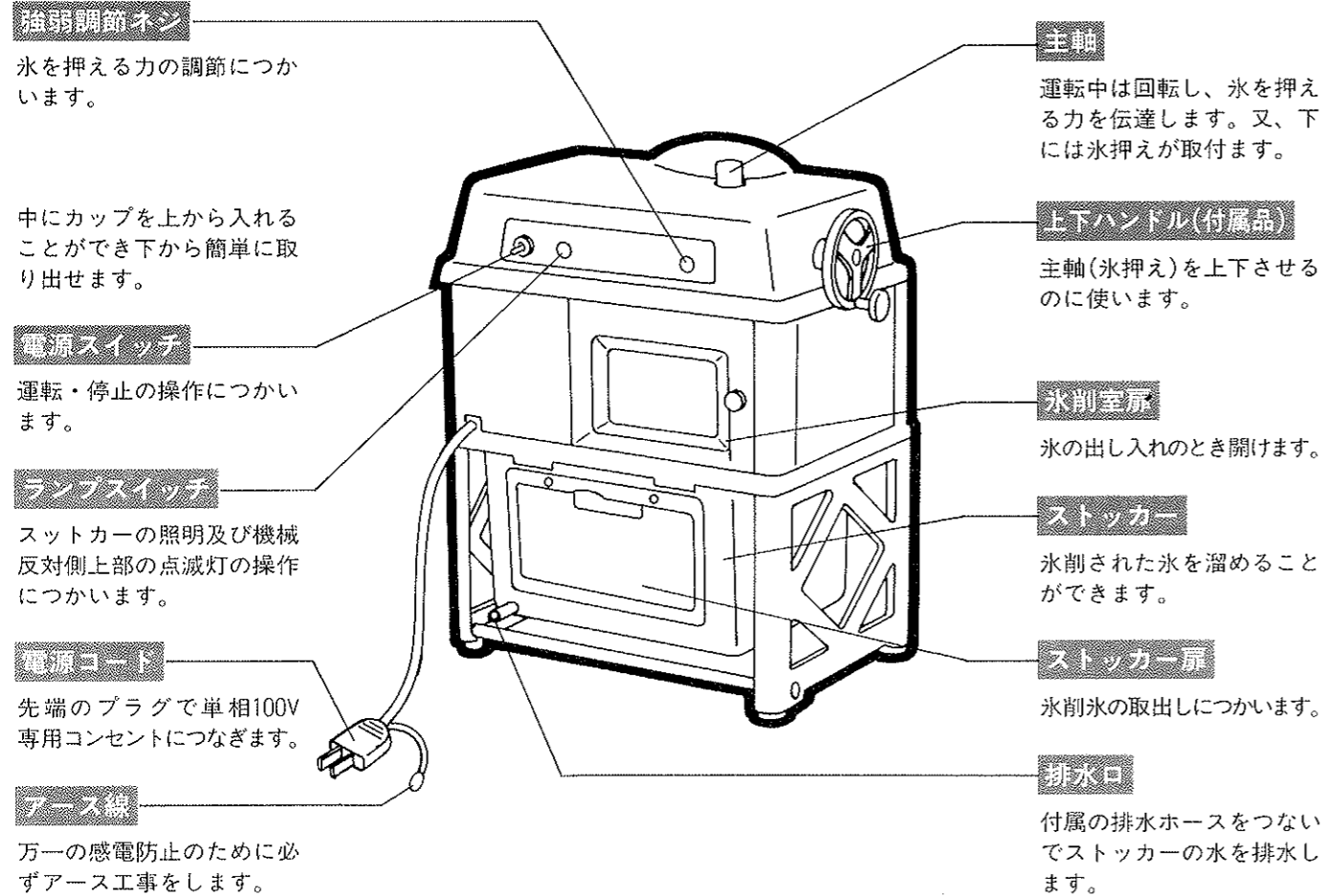
# 使用目的・各部のなまえとその働き

# 2

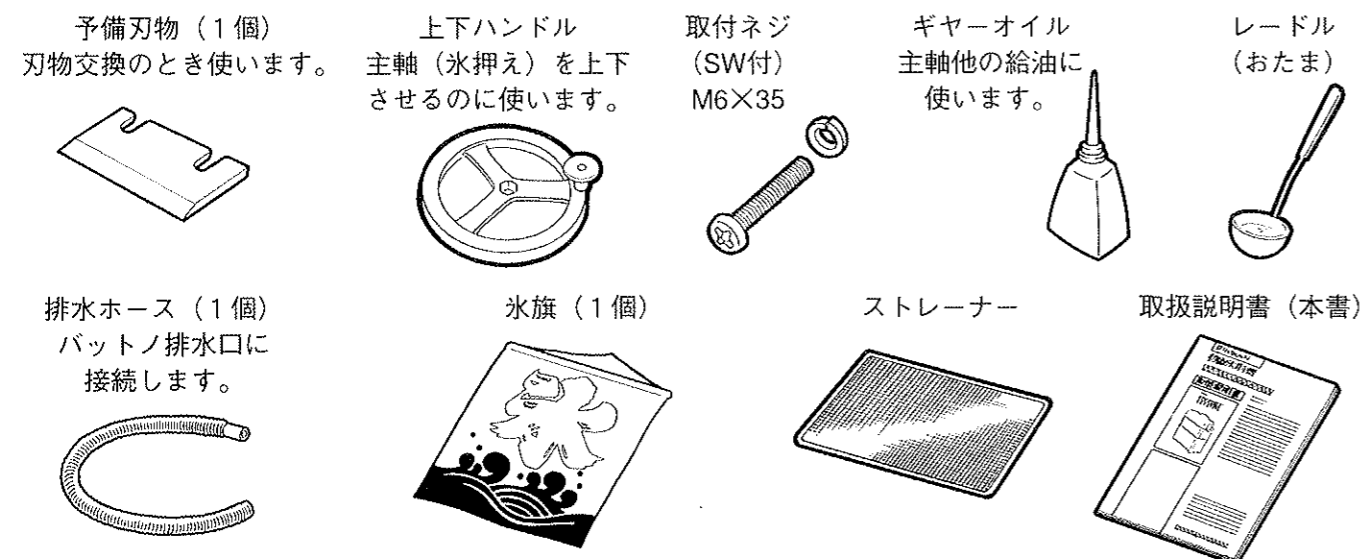
本機は**ブロックアイス**から、かき氷を作るための機械です。

ブロックアイス以外のものには使用しないでください。

\*ブロックアイス……氷販売店等で扱っている1貫目の氷の半分（半貫目）約13cm角の氷塊。



## 付属品

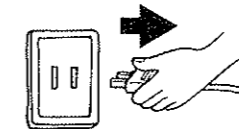


# 設置および使用前の準備

# 3

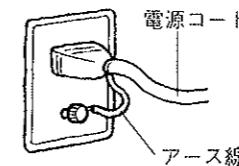
## 警告

●アース線は必ず取り付けてください  
万一の感電防止のため必ずアース線を正しく取り付けてください。アース線のほか、漏電ブレーカーの取り付けをお勧めします。詳しくは販売店にご相談ください。アース線の取り付け、取りはずしは必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



### コンセントにアース端子がある場合

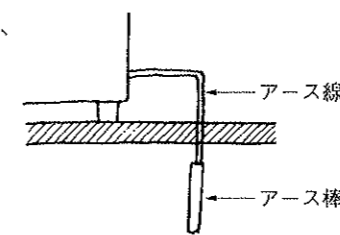
アース線の先端を確実にアース端子に取り付けてください。



### コンセントにアース端子がない場合

第三種接地工事が必要です。  
(接地工事は電気工事士の資格が必要です)

※ガス管や水道管、電話線、避雷針等には絶対取り付けしないでください。



●電源は専用コンセントを使用すること  
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

●機械に水をかけないでください  
水がかかると漏電、焼損のおそれがあり危険です。

●発電機を使用しないこと  
製品又は発電機が焼損し火災の原因になることがあります。

## 注意

●水滴が落ちてもしよいところに接地してください

周囲の機器等を濡らすことがあります。

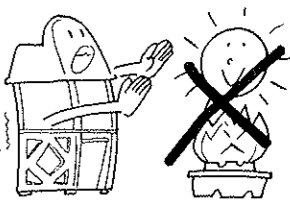
●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

設置に不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



●火気の近くや直射日光の当たるところへの設置は避けてください

火に近いところや、直射日光が直接当たると合成樹脂のカバーが曲がったり、溶けたり、割れたりして危険です。



- 電源は、交流100Vに接続してください。
  - ただし、発電機を使用しないでください。発電機使用時の故障は責任をもちません。
- 上下ハンドルを機械に取り付けてください。
  - ⊕ドライバーを使い、付属のネジで固定してください。
- ストッカーを装着してください。
  - 受金具に確実に装着されているか確認してください。詳細はP9「ストッカーの脱着方法」をお読みください。
- 排水ホースの接続
  - ストッカーの排水口に排水ホースをつないでください。

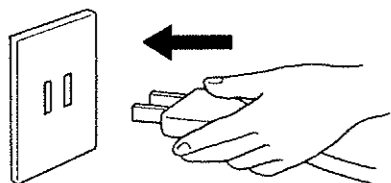
## お願い

- (1) 氷が白色で不透明のときは硬すぎて切削に不适当です。透明になるまで待って使用してください。
- (2) 機械の上にはものをのせないでください。

## 手順

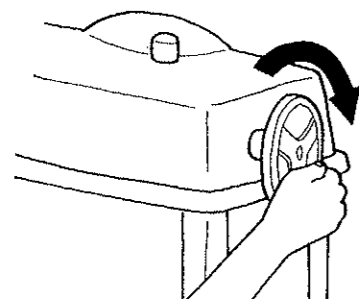
### 1. 電源プラグを差し込む

- 電源スイッチが「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



### 2. 氷をセットする

- 1) 上下ハンドルを反時計方向にまわして氷押えを上げます。
- 2) 上下ハンドルから手をはなし氷押えが落ちないことを確認します。
- 3) 氷削室扉を開けます。
- 4) 円盤の中心に氷をのせます。円盤よりはみ出ないようにしてください。(氷が削れないことがあります。)
- 5) 氷から手をはなします。
- 6) 上下ハンドルを時計方向にまわし、氷押えのクギを氷にくい込ませて固定させます。
- 7) 氷削室扉を確実に閉めます。(不充分だとスイッチが入りません。)

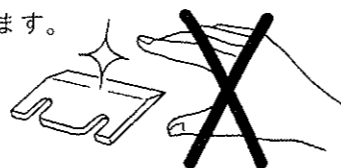


5

## 警告

- 氷の出し入れや、掃除・点検、刃物交換のときは必ず電源スイッチを「切」にして、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



## 注意

- 氷のセットは確実にすること

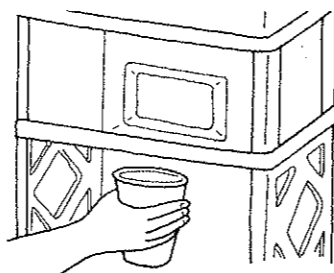
不十分だと氷が飛び出すおそれがあり危険です。

- 氷押えのクギに手をふれないこと

ふれるとケガのおそれがあり危険です。氷の出し入れ、機械のお手入れ、刃物交換のとき十分注意してください。

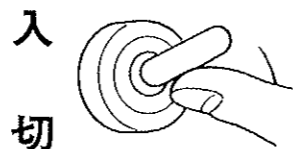
### 3. ストッカーの装着又はカップをうけます

- ストッカーを装着しない場合は円盤の下にカップなどの容器をうけます。



### 4. 電源スイッチを入れる(氷削開始)

- 電源スイッチを「入」にします。



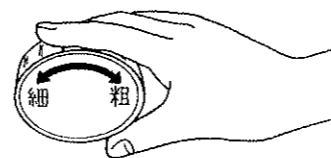
## 注意

- 運転中に回転部分(主軸・上下ハンドル)に手を触れないこと

手を触れるとケガの原因になることがあります。

### 5. 氷削粗さを調節する

- 粗さ調節つまみをまわして、お好みの粗さにします。(標準粗さ 約1mm)
- 右へまわすと粗くなり、左へまわすと細くなります。
- 粗さ調節つまみ1回転で約1mm動きます。(回転可能範囲 2~3回転)



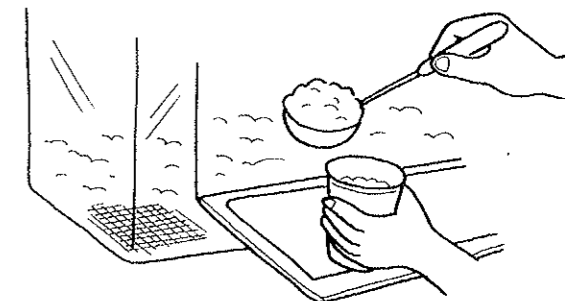
### 6. 電源スイッチを切る(氷削停止)

- 電源スイッチを「切」にしてください。



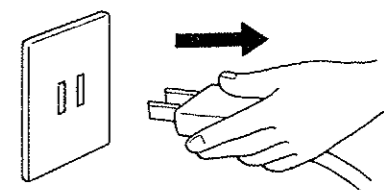
### 7. 氷削した氷を取り出します

- ストッカーに溜まった氷削氷を付属のレードルですくい、カップ等の容器に入れます。



### 8. 使用後は電源プラグを抜く

- 一日の営業が終わったら電源プラグを抜いてください。



## 安全スイッチについて

氷削中に氷削室扉を開けると、安全スイッチが働き機械が停止します。

## お願い

氷削室扉の開閉を電源スイッチのかわりに絶対使わないでください。故障の原因になります。

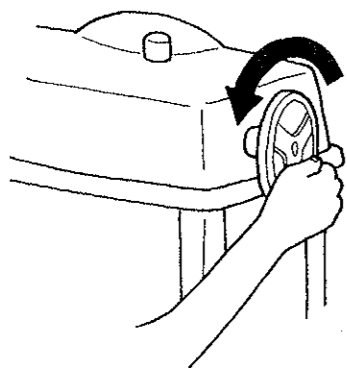
6

# ご使用方法

# 4

## 円盤上の氷の取り出しについて

- 1) 電源スイッチを切ります。
- 2) 氷削室カバーを開けます。
- 3) 上下ハンドルを反時計方向左にまわして氷押えを上げます。



- 4) 上下ハンドルから手をはなし氷押えが落ちないことを確認します。
- 5) 氷削室扉を開けます。
- 6) 円盤から氷を取り出します。
- 7) 氷押えは上下ハンドルを時計方向右にまわして下げておいてください。

### ⚠ 注意

- 切削後に残った氷の取り出しに注意すること

鋭利な部分があり、ケガの原因になります。

## 強弱調節ネジについて

### ⚠ 注意

- 強弱調節ネジは上下ハンドルから手をはなしても氷押えが下がらないように調節すること

弱いと氷押えが下がり釘でケガをすることがあります。

- 氷を押える力の調節に使います。
- 調節には⊖ドライバーを使います。
- 右へまわすと強くなり、左へまわすと弱くなります。
- 上下ハンドルをまわし力を確認し調整します。上下ハンドルから手をはなしても氷押えが下がらず、上げる時に重くない程度が適しています。



## プロテクターについて(内蔵型)

- モーター保護のため負荷がかかり過ぎ、モーターが過熱すると、自動的に機械を止める装置です。作動したときは次の処理をしてください。

- 1) 電源スイッチを「切」にする。
- 2) 電源プラグをコンセントから抜く。
- 3) 過負荷の原因(刃物に氷がくい込んでロックする等)を取り除く。
- 4) モーターの温度が下がれば使用可能な状態になります。

※プロテクターがたびたび作動するときは、販売店又は、最寄の中部工機㈱各営業所までご相談ください。

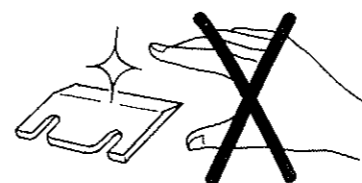
# 刃物交換のしかた

# 5

### ⚠ 警告

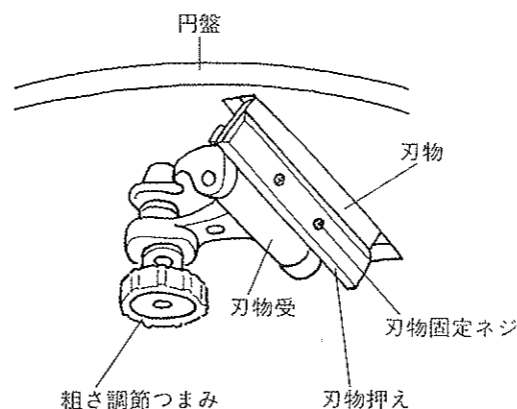
- 氷の出し入れや、掃除・点検、刃物交換のときは必ず電源スイッチを「切」にして、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



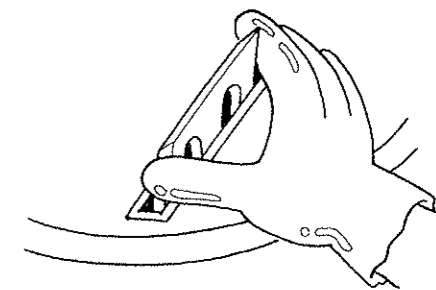
## 取りはずし方法

- 1) 上下ハンドルを反時計方向にまわして氷押えを上げます。
- 2) 上下ハンドルから手をはなし氷押えが落ちないことを確認します。
- 3) 刃物固定ネジ(2本)を⊕ドライバーでゆるめます。
- 4) 刃物を円盤の上側へ引きだします。

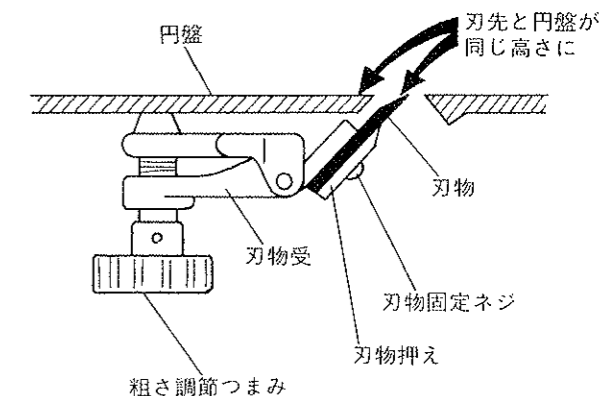


## 取り付け方法

- 1) 刃物調節つまみを左へいっぱいまわしてから、右へ半回転戻します。
- 2) 刃物を円盤の上側から刃物受と刃物押えのあいだに差し込みます。



- 3) 刃先が円盤上面と同じ高さで、平行になるようにします。



- 4) 刃物を刃物固定ネジ(2本)で固定します。

## ⚠ 注意

- 掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチを「切」にして、電源プラグも抜くこと

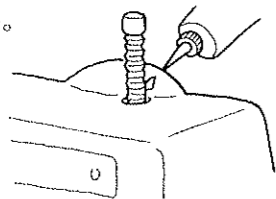
思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。

- 機械外面は乾いた柔らかい布などで拭いてください。

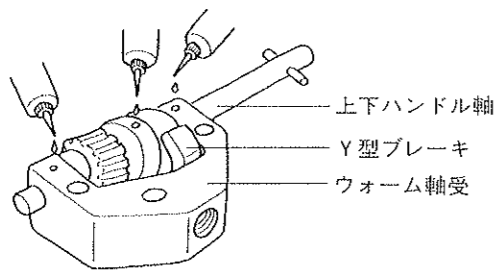
落ちにくい汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用液体洗剤をしみこませた布でふいてください。そのあと洗剤が残らないように水ぶきしてください。シンナーなどは使わないでください。

- 給油は付属品のギヤオイルを使ってください。(マシン油等の鉱物性の油でも結構です。)

(1) 上下ハンドルをまわし主軸を上げて上部より給油してください。



(2) 頭カバーを外してウォーム軸受の上部小穴2ヶ所とY型ブレーキの接触面に給油する。

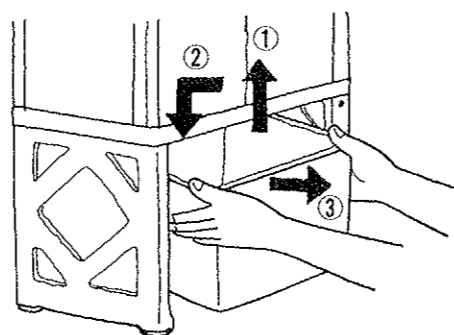


## ● 蛍光管の取替

ストッカーを取りはずして、下から見ると中間フレームのウラ側に蛍光灯用の透明のカバーがあります。2本の⊕小ねじで止めてありますので⊕ドライバーでゆるめて、透明カバーをはずせば、蛍光管及びグローランプの取替えができます。

## ● ストッカーの脱着方法

- 1) 上に持ち上げる。
- 2) 向こう側へ押し下げる。
- 3) 刃物調節つまみに当たらないように引き出してください。
- 4) 取り付けは、以上の逆の手順で行ってください。



## 保管方法

長期間使用しないときは機械を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

## 仕様

型式	定格消費電力	氷削能力 (kg/min)	円盤有効径 (mm)	外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	質量 (kg)	電源	付属品
HF-8BP	150/180W	1.8/2.2	212	470×320×620	32	単相100V 50/60Hz	予備スライス刃、ストッカーレードル、ギヤオイル、ハンドル、ストレーナー、排水ホース、氷旗、取扱説明書

※氷削能力については標準粗さ(刃の出約1mm)にて測定しております。  
別売品: フットスイッチ…スイッチの操作が足でできます。(型式 FS-1)

# 故障の見分けかたと処置方法

## ⚠ 警告

- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと(給油の場合の頭カバー分解は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

## お願い

故障かな?と思ったら、まず次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売店、又は最寄りの各営業所へご連絡ください。

現象	原因	処置方法
氷が削れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 刃物が切れない</li> <li>● 刃先が円盤上面より出していない</li> <li>● 強弱調節ネジがゆるい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 刃物を研ぐか交換する</li> <li>● 刃物調節つまみを右にまわす</li> <li>● 強弱調節ネジを右にまわす</li> </ul>
主軸が回転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロテクターが働いた</li> <li>● ベルトが切れている</li> <li>● 氷削室扉が閉まっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「プロテクターについて」の項をみる(8ページ参照)</li> <li>● 販売店に連絡する</li> <li>● 氷削室扉を確実に閉める</li> </ul>
切削中に氷押えから氷がはずれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 強弱調節ネジがゆるい</li> <li>● 氷押えのクギが氷に食い込んでいない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 強弱調節ネジを右にまわす</li> <li>● 氷をセットしなおす</li> </ul>